

トワダオオカ *Toxorhynchites towadensis* (Matsumura)

【選定理由】

大きな木の樹洞に溜まった水が生活環境である。近年森林伐採が進み、この種が生活できるような大木が非常に少なくなった。

【形態】

体長 10mm 内外。体は青藍色の美しい大型の力のなかま。口吻は大きく下方に曲っている。

【分布の概要】

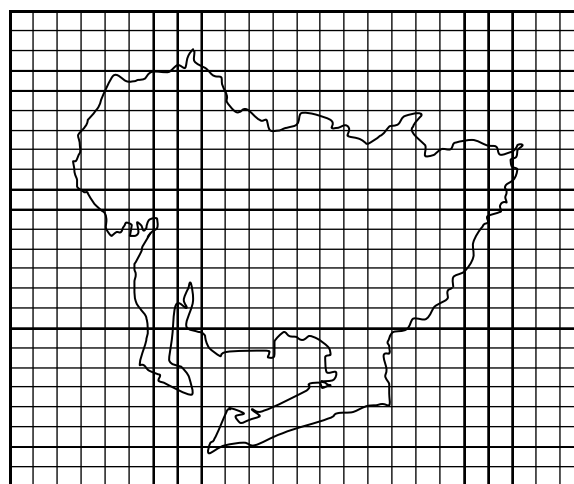
【県内の分布】

北設地方の良好な森林がこれまでの生息域である。

【国内の分布】

本州、四国、九州、対馬、屋久島。

県内分布図



【生息地の環境 / 生態的特性】

大木が生育できる森林で、かつ樹洞ができやすい木の存在が必要不可欠な条件である。樹洞内に溜まった水の中で他の小動物を捕食して生活している。

【現在の生息状況 / 減少の要因】

森林伐採が進み、大木が残されている所が少なくなった。二次林より原生林がより良好な生息域であったが、後者の林が極限されるようになって本種の姿を見ることが非常に少なくなった。

【保全上の留意点】

現在ある原生林の保全と二次林の育成。

【特記事項】

カといっても動物の血液を吸う仲間ではなく、葉上に静止して露を吸収したりしている。